

<2017 年度春学期自主研究> 20 名

- ・ラオスの観光地において大学生が外国語を学んでいるのはなぜかーグローバルゼーション・専門性・言語への関心ー
- ・在日ムスリムの出身地調査と文化的特異性【共同研究 3 名】
- ・紛争、平和構築
- ・情報通信産業におけるビジネスと持続可能な開発目標
- ・ラオスの初等教育における少数民族の学力格差
- ・発展途上国における学校給食プログラムの効果と可能性ーラオスを事例とした提言を中心に
- ・イギリスの三枚舌外交の矛盾や領土問題、宗教そして水問題への移行
- ・日米同盟における米の日本防衛の意義と必要性について
- ・東ティモールの抱える課題と考察
- ・なぜ東ティモール民主共和国の平和構築が実現したのか
- ・アメリカの衰退について
- ・アメリカの建国理念から分析するトランプ現政権の国内政治と外交政策
- ・ラテンアメリカの連帯経済に関するイスパニア語文献の翻訳
- ・開発途上国に多国籍企業が進出する意味ー市民はその恩恵を被ることができるのかー
- ・アフリカにおける BOP ビジネスが与える影響
- ・地域統合の視点から見るナイジェリアとガーナの関係について
- ・発展途上国の初等教育のアクセス問題:ラオスを事例として
- ・発展途上国の初等教育における学校給食プログラムの現状:ラオスを事例として